

# 都市再生整備計画(第2回変更)

あんじょうほくせい  
安城北西地区

あいち 愛知県 あんじょう 安城市

平成17年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	あいち 愛知県	市町村名	あんじょう 安城市	地区名	あんじょうほくせい 安城北西地区	面積	539.5 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 18 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 18 年度				

目標	
緑のネットワークを形成した潤いと安らぎのあるまちづくり	
目標 1	緑化重点地区の公園・緑地を整備し、潤いのあるまちづくりを目指す。
目標 2	土地区画整理事業の整備により、快適な生活環境を確保し、定住人口の増加を図る。

目標設定の根拠	
まちづくりの経緯及び現況	
<p>本地区は、南に位置する東海道新幹線・東海道本線の三河安城駅から、北に位置する名古屋鉄道本線・西尾線の結節駅である新安城駅までのまちづくりを、安城新幹線駅周辺・安城作野・安城横枕・安城北部の各土地区画整理事業により実施している。</p> <p>両駅を拠点とした本地区を緑化重点地区と位置付け、平成12年度から旧まちづくり総合支援事業により、良好な生活環境の向上を図っているが、今回の交付金制度を活用し、継続的な整備を進め、4地区の土地区画整理事業により確保された公園用地・緑地を整備し、既存の緑道等と連携させた緑のネットワーク化を完了したい。</p> <p>公園整備計画をワークショップにより住民と共同して策定しており、住民の意識が高い地区である。</p> <p>土地区画整理事業により住環境が整備され、定住人口の増加とともに児童数も増加し、既存小学校の大規模化が進行している。これを解消するため、この地区において小学校の新設が急務になっている。</p>	
課題	
<p>各土地区画整理事業による都市基盤の整備により、良好な生活環境が望まれている地域であるが、緑の空間が不足していることから、公園・緑地の整備が必要である。</p> <p>各土地区画整理事業により定住人口の増加が図られつつあるなか、快適な生活環境の創出に不可欠な要素である良好な教育環境の整備が必要である。</p>	
将来ビジョン(中長期)	
<p>安城市総合計画において、「快適で魅力にみちたうるおいのあるまちづくり」を目指すべき都市像としている。</p> <p>安城市総合計画において、「ゆたかな心と創造性あふれるまちづくり」の重点目標として学校教育施設の整備・充実を位置付けしている。</p> <p>都市計画マスタープランにおいて、三河安城駅を「広域拠点」、新安城駅を「地域拠点」として位置付けのもとに、都市機能の集約化、快適な住宅環境の形成、街路等の整備・強化等が方針とされている。</p> <p>緑のマスタープランにおいて、「緑化重点地区」として位置付けしている。</p>	

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
生活環境の改善	%	地区内の土地区画整理事業の整備面積	道路・公園等の整備を行い、居住環境の向上を図る。	75	平成16年度	78	平成18年度
居住人口の増加	%	地区内人口の増加率	宅地の利用増進により人口の増加を図る。	100	平成16年度	106	平成18年度
緑地の確保	m <sup>2</sup> /人	都市公園の一人当り面積	都市公園の整備により、安らぎと憩いの場の確保を図る。	4.9	平成16年度	5.1	平成18年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業の推進により計画的な都市基盤を整備し、居住環境の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園(基幹事業)</li> <li>・地域生活基盤施設(基幹事業/緑地、広場、駐車場)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理・公園等整備により快適な生活環境を確保し、定住人口の増加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業(基幹事業)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業/新設小学校関連事業)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化重点地区の公園・緑地を整備し、南の広域拠点である東海道新幹線三河安城駅から北の地域拠点である名古屋鉄道本線新安城駅まで緑のネットワークを形成し、生活に潤いのある環境を創出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園(基幹事業)</li> <li>・土地区画整理事業(基幹事業)</li> </ul>

その他

快適な生活環境の要素である教育環境の充実を図る

学級数の増加による既存小学校の大規模化(31学級以上)を解消し、良好な教育環境の創出を図るため、平成17年度に文部科学省の国庫補助金を活用して新たな小学校を建設する予定である。加えて、本市では独自に平成15年度より小学校1年生を対象に少人数学級編成(30人程度)を実施し、今年度から2年生にも拡大して教育環境の改善を図ることにより、きめ細かな教育体制を実現している。

事業終了後の継続的なまちづくり活動

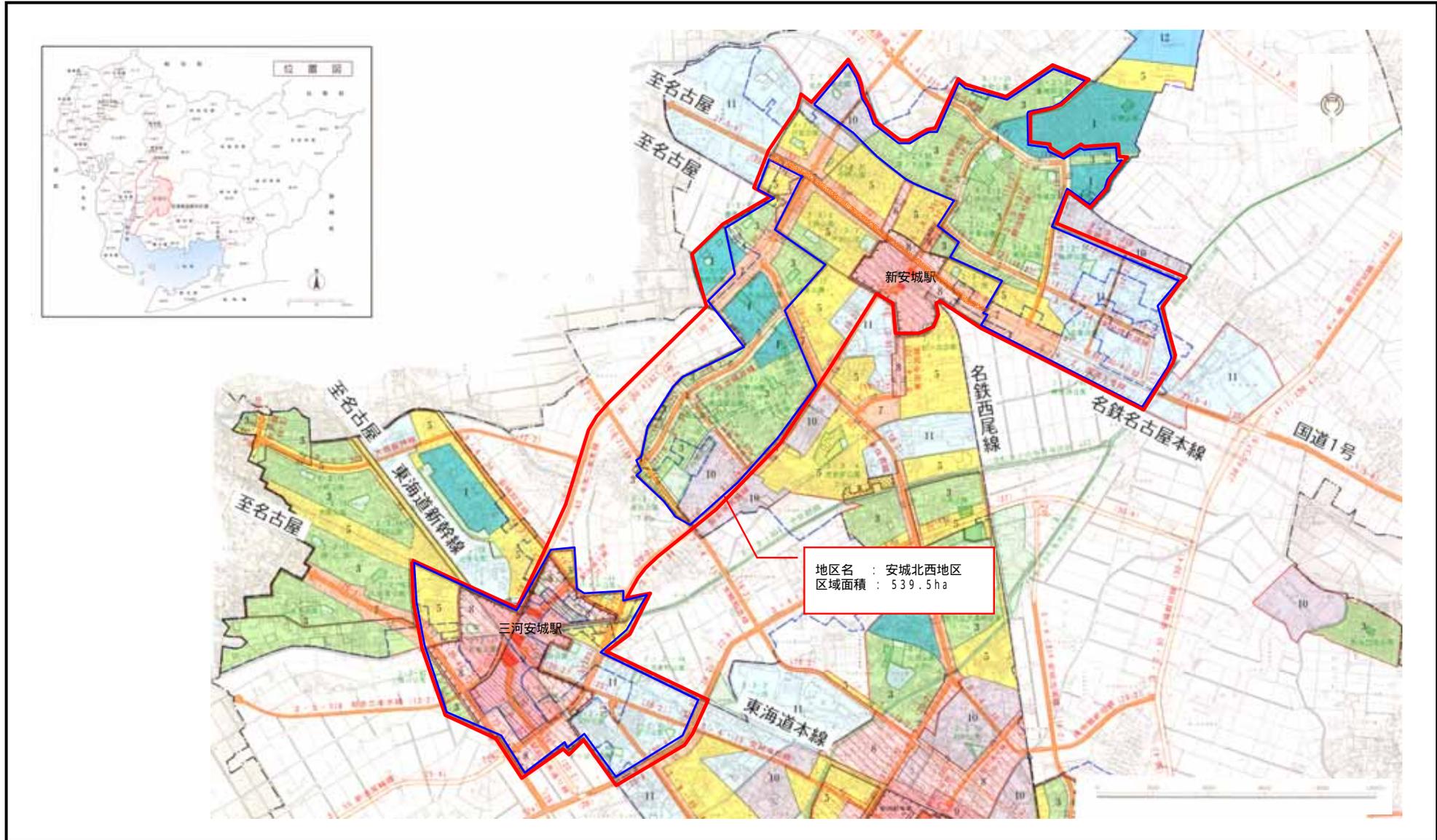
当地区内では、地元住民及び企業を主体とした複数のボランティアグループや愛護会が既に設立されており、道路清掃や公園・街路樹等の管理といった住民参加による街の維持・管理活動が取り組まれている。

今後においても、こうした人のつながりを広げることにより、面的に整備された街をより快適に発展させていくことができる。

平成12年度より旧まちづくり総合支援事業で継続的に整備を進めている。

都市再生整備計画の区域

安城北西地区(愛知県安城市)	面積	539.5 ha	区域	里町、今本町、東栄町、住吉町、今池町、篠目町、二本木新町、二本木町、箕輪町、横山町の一部
----------------	----	----------	----	--



## 安城北西地区(愛知県安城市) 整備方針概要図

目標	緑のネットワークを形成した潤いと安らぎのあるまちづくり	代表的な指標	生活環境の改善 ( % )	75	( 16 年度)	78	( 18 年度)
			居住人口の増加 ( % )	100	( 16 年度)	106	( 18 年度)
			緑地の確保 ( m <sup>2</sup> / 人)	4.9	( 16 年度)	5.1	( 18 年度)

